

仙台市の幼児教育の基本方針（案）

【基本方針】

基本方針 1 根っこを育てる ～生きる力の基礎を培います～**基本方針 2** みんなで育てる ～地域全体で取り組みます～**基本方針 3** 育てる者を育てる ～教育力の向上を図ります～**基本方針 1** 根っこを育てる

社会の一員として生きていくために大切な基礎となる、心身の根っこを育てます。

○命を大切にできる心の教育

- ・身近な命あるものに触れることを通して、命を大切にできる心を育みます。
- ・自分を大切にするとともに、自分とは異なる友だちの気持ちや考えを認め、友だちのことも大切にできる心を育みます。
- ・東日本大震災の教訓を引き継ぎ、災害から身を守る意識を育みます。

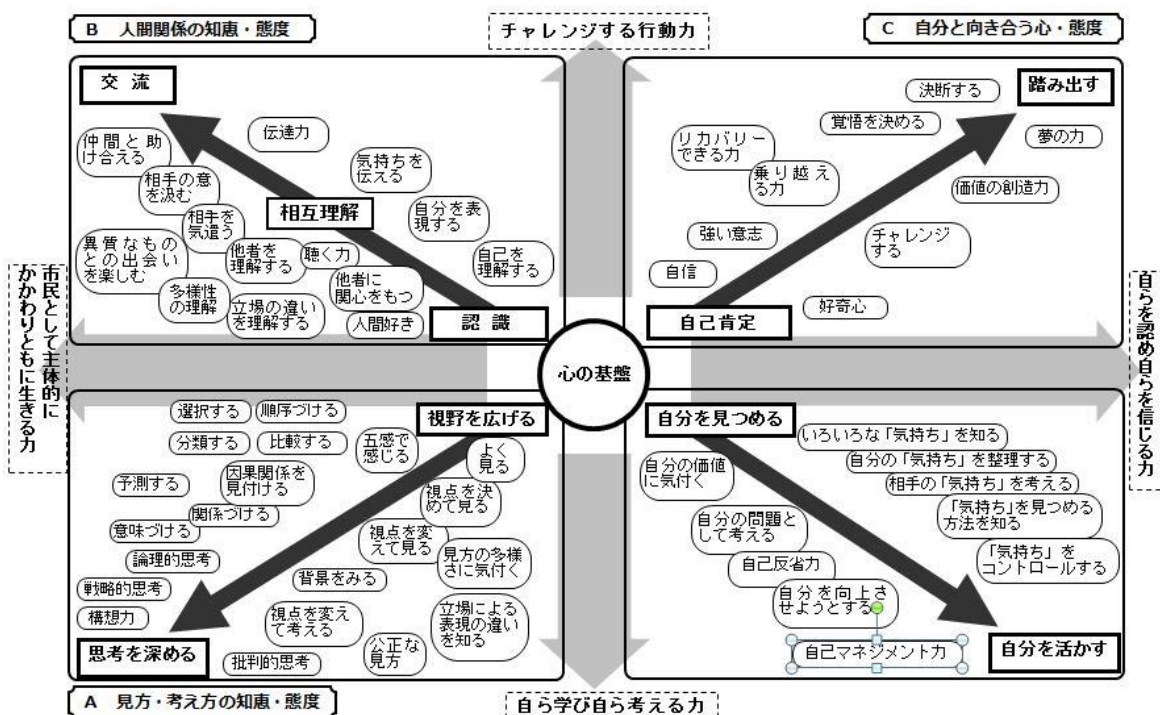
○健康・体力の増進

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を実践し、規則正しい生活リズムを定着させ、食習慣や衛生習慣など、生涯にわたる健康づくりの基礎となる生活習慣を確立し、健やかな体を育みます。
- ・様々な遊びや生活を通して、自ら体を動かそうとする意欲を育み、身体機能の発達や体力の向上を図ります。
- ・自分自身で健康や安全に気を付け、自分の体を大切にできる意識を育みます。

○たくましく生きる力の基礎となる「知恵・態度」の育成

- ・たくましく生きる力を育てるために、その基礎となる知恵・態度を育みます。
- ・すべての子どもがともに育つという考えの下、心身の障害や発達に遅れがある子どもに対しても、その特性や発達の課題を理解し、その子の可能性を最大限引き出すよう適切な支援をします。

- 知恵は、当面の問題を解決するだけでなく、よりよく生きていくために必要となる知識の使い方や応用する技能を指します。
- ここでの知識は、新しいものを追及したり、分からないものを解決したりしながら「よりよく生きていく」ために必要となる知識です。
- 獲得した知恵を実践に移そうとする態度も含めて「知恵・態度」と呼びます。
- 子どもたちに身に付けさせたい知恵・態度は、大きく「見方・考え方の知恵・態度」「人間関係の知恵・態度」「自分と向き合う心・態度」に分類でき、下図のようなキーワード等で表される知恵・態度の具体が考えられます。



【出展】2017 仙台自分づくり教育 たく生き授業プラン集（仙台市教育委員会学びの連携推進室）

基本方針2 みんなで育てる

地域全体で幼児教育に取り組む環境を醸成します。

○幼児教育の理解促進

- ・子どもは未来を担う大切な社会の宝であるとの認識の下、すべての子どもの健やかな育ちを地域全体で支援するよう、幼児教育についての理解促進を図ります。

○幼保・小の接続の強化

- ・幼児期の学びが、小学校の生活や学習に生かされ、子どもたちが小学校生活に円滑に適應できるよう、小学校の先生との交流や連携を深め、幼保・小の接続の強化を図ります。

基本方針3 育てる者を育てる

幼児教育に携わる者の教育力の向上を図ります。

○家庭の教育力の向上

- ・子育て家庭において、親が子どもの成長に喜びや楽しみを感じながら、確かな信頼関係と愛着関係のもとに、しつけなどの基本的な教育がなされるよう、家庭の教育力の向上を図ります。

○教育者・保育者の教育力の向上

- ・幼稚園や保育所、認定こども園において、質の高い幼児教育を行うためには、幼稚園教諭や保育士等の専門性や経験が極めて重要です。日々の実践の中での不断の見直しや研修により、ベテランから若手への知識・スキルの継承に重点を置き、教育者・保育者の教育力の向上を図ります。